

松本地域の道路整備状況について

資料 4

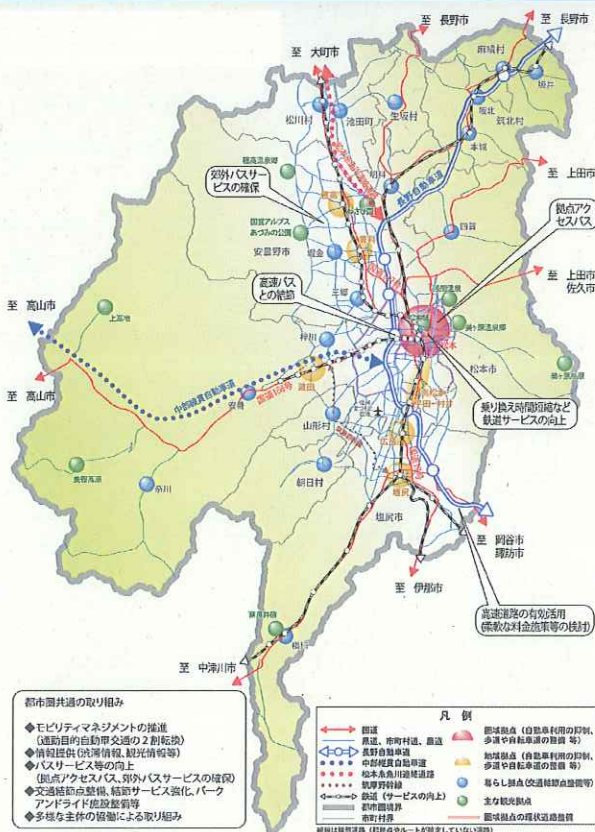


松本建設事務所・安曇野建設事務所

松本地域の交通網

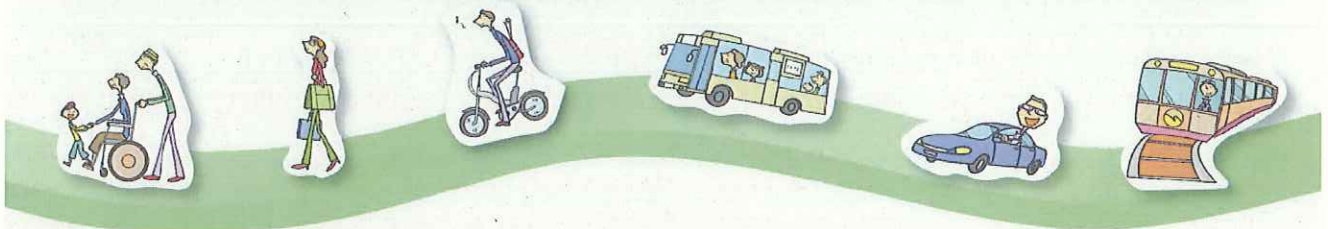
- ・国幹道として長野自動車道
- ・国道として国道19号、20号、153号、158号、143号、147号、254号、403号
- ・鉄道 JR篠ノ井線、JR中央本線、JR大糸線、松本電鉄上高地線
- ・松本空港
- ・高速バス路線

- ・高規格幹線道路として 中部縦貫自動車道
- ・地域高規格道路として 松本系魚川連絡道路



松本都市圏総合都市交通計画

少子高齢化、人口減少といった社会情勢の変化を踏まえ、現在の集約性の高い都市構造の長所を活かし、国道19号をはじめとする幹線道路の整備を進めつつ、車から公共交通、徒歩、二輪等への交通手段の転換を促進することなどを含めた交通計画として「松本都市圏 総合都市交通計画」を平成23年3月に策定しました。



松本都市圏総合都市交通計画

●松本都市圏

対象区域は・・・

松本市(旧波田町含)、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、朝日村、山形村、筑北村、池田町、松川村の3市1町6村(10市町村)です。

●計画目標年次は・・・

概ね20年後の平成42年を目標とする長期計画です。

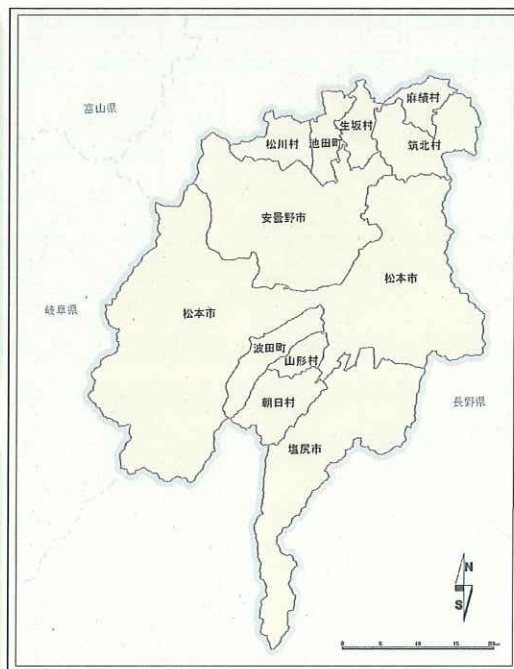


表 松本都市圏の人口と面積

	人口 (人)	面積 (km ²)
松本市	227,627	919.4
安曇野市	96,266	331.8
塩尻市	68,346	290.1
波田町	14,914	59.4
池田町	10,630	40.2
松川村	10,072	47.1
山形村	8,195	24.9
筑北村	5,702	99.5
朝日村	4,875	70.6
麻績村	3,204	34.4
生坂村	2,160	39
都市圏計	451,991	1,956.4

資料：国勢調査（H17）

位置図
(平成20年度の市町村区分)

～ 総合都市交通計画がめざす姿 ～

「活力とやさしさのあるアルプス都市圏をめざして」

- 鉄道駅周辺に暮らし働く人が多い特長を活かしたまちづくり
- みんなが安全で快適に移動できる活力あるまちづくり
- 自動車のみならず公共交通を有効に活用する社会づくり
- 地域間の観光・交流を促進するための
活力あふれる交通網やまちづくり
- 過度に自動車に依存せず、
多様な主体が連携して支える持続可能な交通環境づくり

多様な交通手段の連携と公共交通の
持続可能性を高めます。



都市圏の玄関口 信州まつもと空港
(2010年信州まつもと空港コンクールグランプリ受賞)



春の松本城



ハイブリッドシステムを搭載した
リゾートトレイン



暮らしと観光の交通手段
松本電鉄上高地線



さまざまな交通手段が結びつく
松本駅 (アルプスロ全景)



松本市内を循環する
タウンズニーカー

地域の実情

松本地域は、山岳道路が多く災害によってたびたび通行止めが発生する。また、近年、台風の強大化、ゲリラ豪雨の増大、地震など、自然災害の規模が大きくなってきている。特に、活断層である牛伏寺断層では将来の地震発生確率が高まる可能性や、活火山焼岳の噴火についても活発化が予測されている。

松本地域での災害状況

- ・平成16年
 (国)403号が山腹崩壊により9日間全面通行止め
- ・平成17年7月
 安曇沢渡地区のうすゆき橋下で山腹崩壊により国道158号が約1ヶ月の通行止
- ・平成23年6月23日
 (国)158号ワラビ沢、上高地公園線産屋沢が土石流により被災
 観光客、従業員等1,200人が取り残される
- ・平成23年6月30日
 長野県中部を震源とする地震により震度5強
 松本市南部を中心に約6,000軒が被害
 県道松本空港線二子橋が被災

平成23年6月23日の豪雨災害(松本市上高地・中ノ湯)

松本建設事務所

国道158号(ワラビ沢) 土砂流出



上高地公園線(産屋沢) 土石流

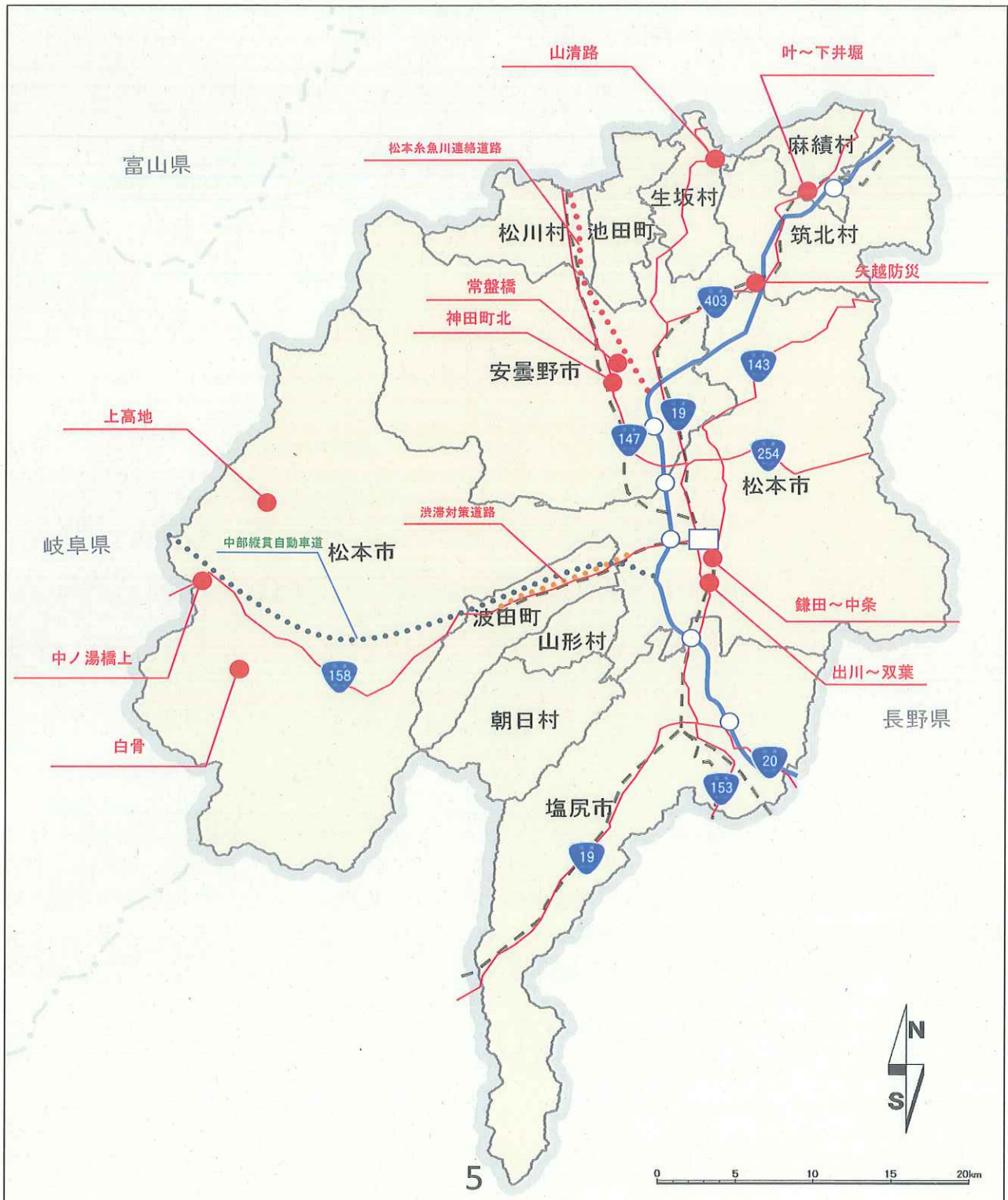


○被害状況
 上高地公園線 産屋沢地点
 ・産屋沢で発生した土石流が道路及び釜トンネル内に堆積。
 国道158号 ワラビ沢地点
 ・L=50m H=2.5~5mで土砂堆積。
 観光客等約1200人が上高地に取り残され下山できず(6/23)

○経過
 6月23日 13時15分
 県道上高地公園線 大雨による事前規制のため通行止め
 直後、松本市安曇 釜トンネル上高地側、産屋沢(うぶやさわ)で土石流発生
 6月23日 13時45分
 国道158号 松本市安曇 中ノ湯
 赤経谷(あかぬたに)トンネル松本側付近~坂巻トンネル間「ワラビ沢」、大雨による土砂流出のため、通行止め(高山市平湯ゲートから沢渡ゲートの規制区間)
 6月24日 5時00分
 土砂撤去作業開始。観光客を下山させるため、歩道の確保を最優先に行う。
 6月24日13時30分
 歩道の確保と安全確認が終了。観光客が下山を開始(※17:15下山完了 平湯側585人、沢渡側219人 計804名)
 6月25日~6月27日
 土砂撤去等復旧作業を実施
 6月28日12:00
 (国)158号通行止め解除(片側交互通行)
 6月29日7:00
 (主)上高地公園線通行止め解除(片側交互通行)

主要施策・主要事業について

松本都市圏総合都市交通計画と連携して地域のインフラ整備を進めています。また、災害に強い県土づくりにも取り組みます。



道路ネットワークの整備

- 総合的な交通施策の検討
松本都市圏総合都市交通計画(H23.3月策定)
に基づく交通インフラ整備
- 高規格幹線道路と一体となった道路ネットワークづくり
中部縦貫自動車道 松本糸魚川連絡道路
- 地域をつなぐ道路整備
(国)403号 矢越防災 (主)穂高有明線 常盤橋
(一)波田北大妻豊科線 島々～三溝新田(渋滞対策道路)
- 観光振興を支援する道づくり
(主)上高地公園線 上高地 (一)白骨温泉線 白骨
- 生活関連道路の整備

快適で暮らしやすいまちづくり

- 都市部・交差点部の渋滞対策
(街)内環状南線 鎌田～中条
- 危険な踏切の立体交差化
(街)出川双葉線 出川～双葉(宮田前踏切)
- 高齢化社会に応える 歩いて暮らせる町づくり
交通安全事業 (国)403号 叶里～下井掘
(かんだちようきた)
(国)147号 神田町北 など
- 交通規制区間の解除に向けた対策
(一)白骨温泉線 白骨

・ 災害に強い道路の整備

(国)158号 防雪対策 中ノ湯橋上

(主)上高地公園線 上高地

(国)403号 矢越防災

(主)大町麻績インター千曲線 山清路 など

